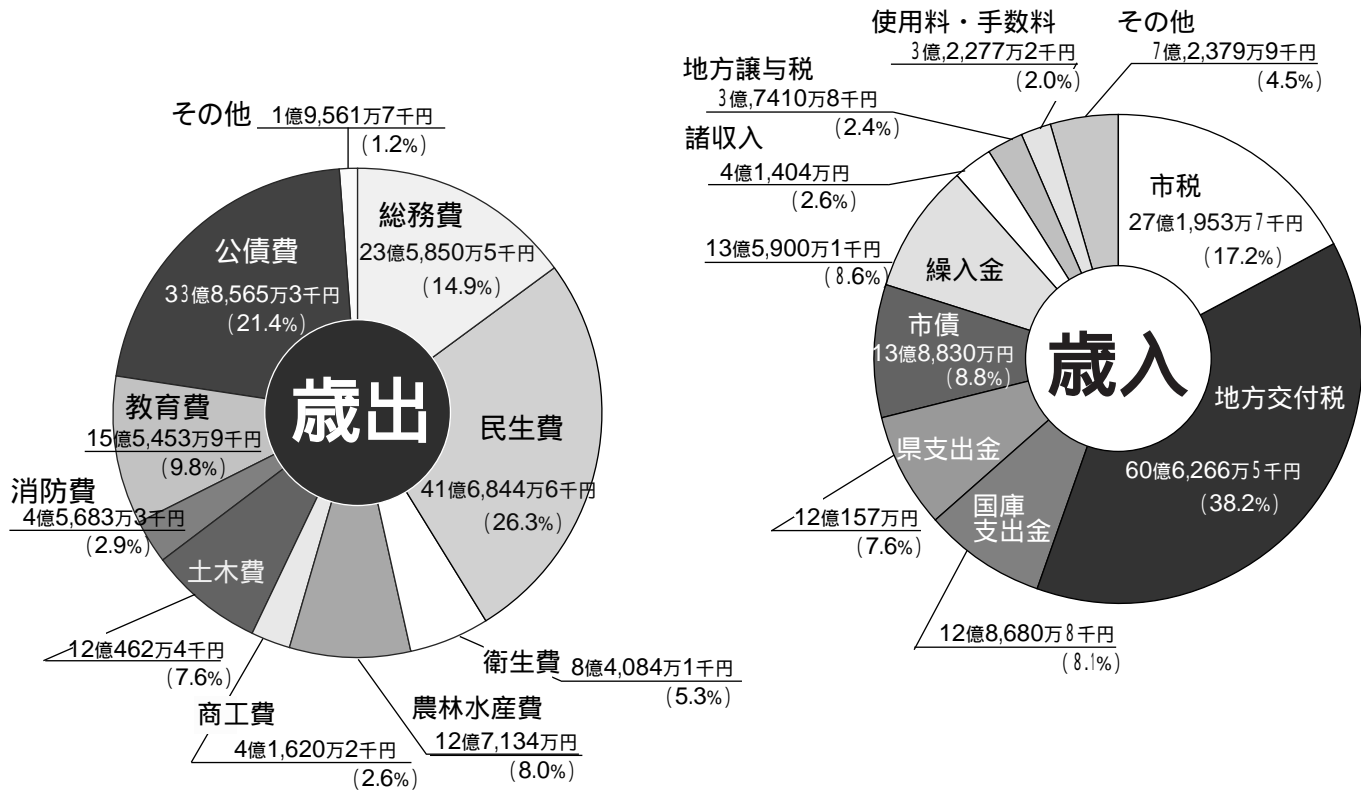


平成18年度 当初予算 総額 (一般会計 特別会計) 280億1,057万4千円

一般会計 158億5,260万円

昨年度の旧町村の合計額約143億9,503万円と比べ
14億5,757万円の増 となっています。



平成18年度 当初予算 — 合併はしたけれど... ならないために —

6月定例議会で平成18年度の予算が決まりました。この予算をもとに旧5町村から香南市となった私たちのまちには、さまざまな仕事をすすめていきます。予算にはいくつかの種類(会計)がありますが、私たちの税金などが主な収入となっているのが『一般会計』。今年度の一般会計の予算総額は **158億5,260万円** です。

予算って何?

皆さんの家庭でも、家計簿をつけたり通帳を見たり... 毎月やりくりを頭を悩ませていますか?
市役所の場合も同じで、4月1日から来年の3月31日までの一年間に市役所にくらのお金が入ってくるか、そしてそのお金をどんなことに使うのか、計画を立ててやりくりしています。これが『予算』です。家庭での給料などの収入が『歳入』、食費や光熱費や教育費などの支出が『歳出』にあたります。
さて生まれたての香南市はどのような状態になっているのでしょうか?



3

『3』の予算があります
市役所の仕事は広範囲にわたるため、性質ごとに予算を、一般会計 特別会計、企業会計に分けています。一般会計は税金が主な収入になっていて道路の整備や福祉サービスの提供など、市の基本的な仕事をすすめるものです。特別会計(国民健康保険や介護保険など)は特定の収入(保険料や保険料など)でその支出が賄われるもの(企業会計(水道事業など)はその仕事自体に収益・使用料など)があり、支出を収益で賄っているものです。

厳しい

財政事情
財政危機を乗り越える手段として5町村の合併を選択しましたが、今年の予算は旧町村の継続事業を引き継いだ結果、合併効果は表れていません。それぞれが一般会計では前年度の旧町村合計額と比べ10%の増となり、約13億6千万円の基金(市の貯金)を取り崩した予算となりました。今後、相当の覚悟で財政の健全化に取り組みしなければ、財政破綻はまぬがれません。

企業会計

水道事業会計
収益的(収入) 4億 215万4千円 (支出) 4億 701万4千円
資本的(収入) 1億1,110万円 (支出) 2億6,577万5千円
水道事業経営のために設けられた、独立採算性の会計で収入の大部分は私たちが支払う水道使用料です。今年度は給水戸数9,160戸、配水量450万立方メートルを計画。資本的支出のうち、水道施設設備工事、配水管布設工事に1億4,620万円を予定しています。

工業用水道事業会計
収益的(収入) 4,258万9千円 (支出) 4,721万5千円
資本的(収入) 0万円 (支出) 1,446万7千円
香我美町内企業2社が支払う水道使用料で運営されています。今年度は年間給水量144万5千立方メートルを計画しています。同工場は第2棟目建設予定の用地も取得しており、県企業局では工業用水も準備し、いつでも給水できる状態のため今後早急に第2棟目建設を期待するところです。

特別会計 121億5,797万4千円

漁業集落排水事業特別会計(三、五七三万二千円)
夜須町住吉地区の漁業集落の生活環境を改善し、生活排水の水質浄化を図るための会計です。

農業集落排水事業特別会計(二億八、六〇八万円)
農業集落地域の生活環境を改善し、農業用水等、公共用水域の水質浄化を図るための会計です。市内では六地区で供用を開始しており、今年度本村地区の管路施設工事で設備完了を予定しています。

下水道事業特別会計(六億三、四六九万七千円)
主として市街地における便所の水洗化や生活排水処理をすることにより公共用水域の水質の保全と健康で快適な生活環境を図るための会計です。今年度は野市町東野汚水中継ポンプ場建設と西野、東野地区汚水管渠の布設など予定しています。

簡易水道特別会計(一億五、七五五万八千円)
収入の大部分が水道使用料により成り立っている特別会計です。今年度は香南市内で既設配水管の老朽化に伴う布設工事等を計画しています。

障害者自立支援審査会特別会計(二七五万六千円)
香南香美地区障害者自立支援審査会特別会計は、市町村審査会を香南市と共同で設置し、審査会の業務を香南市で執行し、適正に運営していくために新たに設けました。予算は、国庫補助金、香南市及び香南市からの負担金による歳入と、審査会委員及び嘱託職員報酬、職員の時外勤務手当、旅費等に使われます。

介護保険特別会計(二五億七五二万六千円)
四十歳以上の人が納める保険料(公費、国・県・市)を財源として、病気などで介護を必要とする方に介護サービスを提供し、利用料を給付する会計です。今年度は認定者数一、六五七人を見込んでいます。

老人保健特別会計(四六億五、八二二万五千円)
七十五歳以上の高齢者などの医療費を賄うための会計です。支出のうち九六・六%は医療費です。今年度の対象者は平成十八年四月一日現在五、一三七人で一人あたりの医療費は、約九十万円を見込んでいます。

国民健康保険特別会計(三八億七、五五〇万円)
収入のほとんどを国や県などの交付金、被保険者の税金で賄っています。支出では、医療給付や老人保健拠出金が九〇%近くを占め、被保険者が安心して医療機関に掛かれます。医療給付には、治療費の保険負担以外に、『出産一時金』や『高額医療費』などのいわゆる『患者負担』を軽減する給付も行っています。